

2016年12月3日実施 今中哲二氏講演会 参加者の質問に対する今中さんからの回答

	質 問	回 答
1	<p>最近インターネットや本で得た情報では、一般の原発(福島以外、例えば北海道の泊原発)周辺では癌死亡率が他地域よりもかなり高いという。データ数が多いとはいええないようなので、信ぴょう性がどの程度高いかわからないが、原発の構造上、排気とか排水などで、日常的に放射能が漏れている可能性はないのだろうか？</p>	<p>運転中にしろ、停止中でも、定期検査にともなう作業などにもなって、原発からはわずかながら放射能が出ています。それらの放射能は、気体状は排気筒から、液体状は排水口から放出されるので、どちらも出口で放射能を測っています。また、原発周辺にはどこにもモニタリングポストがあって、24時間放射線量を測定しています。通常の運転状態では周辺の方々の被曝は自然放射線被曝にくらべても無視できる程度だと思いません。</p> <p>それでも、フランスやドイツの原発の周辺で小児白血病の増加が認められる、という報告が出ていて、その原因について議論が行われています。日本の原発立地周辺地域でのガン発生をしらべた報告を学会で聞いたことはありますが、統計的に有意な増加は認められていない、という話でした。</p>
2	<p>有益な菌(微生物)が環境や人間の健康にも役立つことは知られています。納豆や漬物も体にやさしい食べ物です。これは菌が原子転換を引き起こすからです。例えば笹だけを食べるパンダの骨や血液を作るのも腸内菌の働きです。ベラルーシの学者から有益な菌を使用しての放射線量の減少の研究結果の発表も聞いたことがあります。EM菌を使って田村市みやこじ地区で不検出のお米を作っている農家の方もいらっしゃいます。有益な菌による原子転換の働きにより、土や農作物、汚染水、汚染物等の対策の選択肢のひとつになると思うのですが、どのようにお考えでしょうか？</p>	<p>EM菌が放射能対策に有効だ、という話は、チェルノブイリに関連して20年前から聞いています。関係者と話をしたことがありますが、私からしたら、私が持っている知識とは相容れない話でした。人を含め生物の物質代謝、エネルギー代謝を担っているのは、化学反応です。化学反応にともなって、原子の電子状態は変化しますが、原子核の変化は起きません。</p>
3	<p>きのこや山菜には注意、野菜は仕方ないとお話でしたが、山登りや自然の中で子どもを遊ばせることも注意したほうがよいですか？</p>	<p>山登りや森の中で遊ぶかどうかは、その場所の放射線レベルによります。仙台の汚染レベルは東京と同じくらいですが、東京の多摩にいる娘と孫が東京郊外に遊びに行っても、私は気になりません。飯舘村ならやめた方がいいと言うでしょう。その場所の放射線量が1時間当たり0.2マイクロシーベルトを越えるようなところはかなりの汚染があると言っていいでしょう。1時間当たり0.2マイクロシーベルトを越えるような場所があった場合、その周辺の放射線量を調べておく方がいいでしょう。</p>

4	<p>「チェルノブイリハート」は「ありそうもない話」との説明でしたが、この症状そのものは原発事故とは無関係とするのですか？ またこれに限らず、ガン等の病気が増加していますが、これらもチェルノブイリ原発事故との関連性はないとの見解ですか？</p>	<p>ある病気や障害が原発事故による汚染と関連するかどうかは、個別の症例をみただけではわかりません。その地域と対照となる地域での発生比率を比べて、発生頻度の差異が大きければ原発事故と関連していると判断できます。チェルノブイリハートではそうしたデータは示されていません。チェルノブイリハートの話より、私の知り合いのラジューク先生のデータの方が確かな情報だと思っています。</p> <p>また、チェルノブイリの汚染地域では子どもの病気が増えているという報告はたくさんありますが、調査の方法や元のデータがキチンと示されている報告はほとんどありません。確かな情報でないからガンが増えてないとは言えませんが、専門家の端くれとしては、確かとは言えない情報として扱うようにしています。</p>
5	<p>汚染水対策についてですが、凍土壁は確実な対策方法なのでしょうか？</p>	<p>凍土壁はトンネル掘削で水漏れを防ぐために使われたりする技術のようですが、福島で作られているような大きなものは経験がないようでした。案の定、うまく凍らない部分があったりして四苦八苦しているようです。凍土壁がうまくできあがったとしても、気休めみたいなもので、抜本的な対策としては、燃料デブリ(融けて固まった核燃料)を何とかして取り出して、安定した容器に入れて保管する必要があります。</p>
6	<p>ときどき汚染水がタンクから漏れ出てしまったという報道を聞きます。漏れて土に浸み込んだ放射能汚染水は今後どのような影響が出てくるのでしょうか？</p>	<p>タンクから漏れた汚染水は、最終的には雨水と一緒にあって、海へ出て行きます。汚染水に含まれていた放射性物質は、その性質に応じて、水と一緒に流れたり、土壌に吸着されたりします。セシウムは土壌に吸着されやすいので、敷地に留まる部分が多いですが、トリチウムは雨水と一緒に海に流れ出すでしょう。原発敷地内の地下水の放射能汚染と海水の放射能汚染のモニタリングを長期にわたって行うことが必要です。</p>